

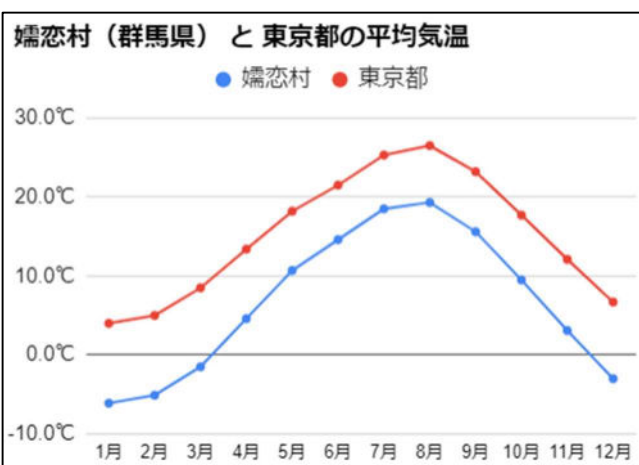
しゃかいかしりょう たかいとち くらし  
**社会科資料「高い土地の暮らし」**

さむさ い か し た し ょ く り ょ う せい さん  
**暮らしの工夫 寒さを生かした食料生産**

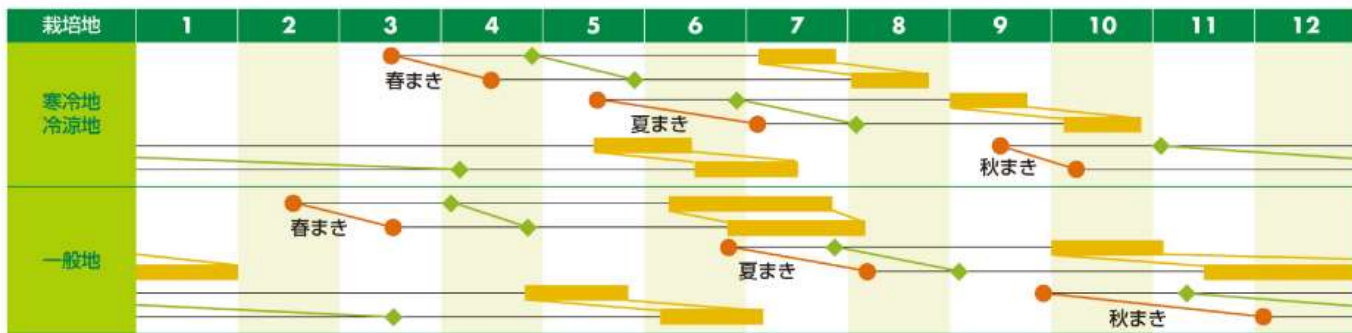


キャベツ農家

つまごいむら、むらのほとんどがひこう1000メートルのたかいとちにあります。こうちにあるため、夏でも平均気温は20度という涼しさです。涼しさを好むキャベツ作りにはこの土地がうってつけです。  
 つめたいきこうを生かしてキャベツ作りに取りかかり、つまごいむらにはほんいちのキャベツ産地へと成長しました。



キャベツはもともと、地中海沿岸の野菜です。そのため冷たい気候を好み、暑さは苦手な野菜です。発芽するための適温は15°C~30°C、発芽してから育つ時は15°C~20°Cぐらいが適温です。



(出典：園芸通信 様 [https://sakata-tsushin.com/oyakudachi/lesson/vegetable/post\\_18.html](https://sakata-tsushin.com/oyakudachi/lesson/vegetable/post_18.html))



(出典：孺恋村観光商工課)

**寒さを生かして人を集める**

つまごいむらでは、平均気温が低いことを生かして、「孺恋高原キャベツマラソン大会」を行っています。  
 夏は熱中症が心配されますが、夏に涼しいおかげで3500名ものランナー達が参加してくれ、村の活気につながっています。